

# 平成 27 年度「コミュニティ・カウンセリング・センター（CCC）」講座案内



主催 特定非営利活動法人

コミュニティ・カウンセリング・センター(CCC)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-23-1

ニュー・ステイト・メナー727号

TEL : 03-5351-2603 FAX : 03-6276-7110

メール ; c.c.center@y6.dion.ne.jp

<http://ccc-npnc.org/>

## 1. 《NP ファシリテーターのためのフォローアップ講座（単発3回）》

日本へのNPプログラム導入から10年が経過し、その中身も実績を積み上げる中で洗練されてきました。ファシリテーター養成講座を受けてから一度もフォローアップ研修やNPフォーラムのワークショップに参加されていない方、特に初期の頃受講された方は、ご自分の知識やスキルを最新のものにバージョンアップするためにぜひご参加ください。どの回も内容（進め方）は同じです。セッション実施記録（NP未経験の方は計画）を事前に出していただきます。

日 時：＜第1回＞6月20日（土） ＜第2回＞8月29日（土）

＜第3回＞2月11日（木／祝）

各回とも 10:00～16:00（昼食をはさみます）

受講料：1回 5,000円

対象：NPファシリテーター

募集定員：各8名～20名

申込：＜第1回締切＞6月6日（土）

＜第2回締切＞8月15日（土）

＜第3回締切＞1月28日（木）

ただし、それぞれ定員になり次第締切といたします。

会場：東京都健康プラザ「ハイジア」4階 ウェルネスエイジ会議室を予定

講師：神村富美子氏（CCC副理事長・NPNC認定マスタートレーナー・臨床心理士）

## 2. 《子育て支援者のための心理学講座・全10回》

最近、子育て支援の現場で母親から「子どもとどう関わっていいのかわからない。」「赤ちゃんは言葉がわからないから、話しかけてこなかった。」など、驚くような発言を聞く機会が多くなってきました。親に本来、受け継がれてきたはずの「養育能力」の伝承が途切れかけているのでしょうか。愛着のあり方が年代を追って薄くなっているかのような印象があります。人間の赤ちゃんには、ある一定量の関わりが必要であることは、古代からそれほど変わっていないはずですが、本講座を子育て支援をする上で避けて通れない基本的な事項を確認しなおす機会としたいと思います。皆様の積極的な参加をお待ちしております。

Nobody's Perfect の関係者以外の方もご参加いただけます。（講座内容は裏面）

期日：裏面表内参照

時間：13:30～16:30

受講料：30,000円

募集定員：30名

申込締切：5月9日（土）

対象：保育士、幼稚園教諭、保健師、子育て支援関係者など、子育てに関わる仕事・活動をしている方

会場：第1回目は東京都健康プラザ「ハイジア」4階 ウェルネスエイジ会議室

講師：裏面講師欄参照 ＊会場アクセスはハイジアHP参照 <http://www.hygeia.jp/access.html>

講座内容：

回	期日	テーマ	講師	内容
1	5/23 (土)	オープニング/オリエンテーション/愛着の重要性について/愛着障害とは	柴田俊一氏 (常葉大学大学院准教授・CCC副理事長)	本講座について企画の趣旨などを説明します。参加者同士が知り合う機会をつくるため、体験的にお互いが知り合う「アイスブレイク」を行います。愛着の重要性、また、愛着の基礎をなすスキニッピン、絆ホルモンといわれるオキシトシンの働きについても学びます。
2	6/27 (土)	多問題家庭の子育て/生活保護家庭に交通費を支給して実施したNP	櫻 幸恵氏 (岩手県立大学社会福祉学部 専任講師)	カナダでは、もともと、多問題家庭を中心にNPが行われてきました。日本においても、その必要性は認識されていましたが、なかなか手の届かない領域でした。今回、生活保護家庭(ひとり親)を対象に交通費を支給するという画期的な手法で実施したNPについて報告します。今後の親支援の領域の広がり、深まりを感じさせられる実践です。
3	7/25 (土)	描画テストから見える子どもたちのこころと子育て状況の変化について	三沢直子氏 (CCC理事長)	統合型HTPは、「家」と「木」と「人」を一枚の紙の中に描く心理検査の一種です。そこには、人の内面がさまざまな形で投影されると言われています。アクティビティとして、小学生と大学生の20年を経た描画の違いを比較した後に、今どのような問題が起こっている(認識)、それは何故起こり(関連付け)、今後どのようにしたらよいか(応用)をみんなで話し合います。
4	8/29 (土)	保育園や学校、タイの貧困家庭での試みから学ぶ対応策	三沢直子氏 (同上)	描画テストで明らかな改善を示したクラスの担任のかかわり方が、実際にどのようなものであるかを記録した30分のドキュメンタリー映像を見ながら、その先生が実際にどのような関わりをしているか(認識)、それがどのように生徒に影響を及ぼしているか(関連付け)、今後それをそれぞれの現場でどのように生かせるか(応用)について、小グループ→全体で話し合います。
5	9/12 (土)	しつけの基本についての心理学的考え方	三沢直子氏 (同上)	「しつけとは何か」についての答えは千差万別です。その基盤には、「どのような大人に育ててほしいか」という親の願いがあります。その問いに対して、心理学的にはどのような考え方があるかを紹介し、しつけの基本について皆で考えたいと思います。この回もできるだけNP方式での話し合いを基本とします。
6	10/24 (土)	発達に気になる子を育てる親のためのNP手法を用いたグループワークの取り組み	土岐宏枝氏 (保健師・精神保健福祉士・保育士)	1才6ヵ月児健診などで、発達の遅れの疑いを指摘された親は、子どもの行動の問題が気になりながらも、診断がはっきりしないなど複雑な心境の中におかれます。これらの問題の受け皿として機能する、児童発達支援事業の中で実施されている「親グループ」の運営は、担当者としては運営の難しさが報告されてきた分野でした。そこにNP手法を用いた運営をすることで、親グループが活性化していった実践を報告します。
7	11/21 (土)	発達障害:早期発見と早期療育/障害を認められない親とのかかわり	柴田俊一氏 (同上)	発達障害の兆候は、1才前後からはっきりしてきます。早期発見のためのチェックポイントを学び、こどもの問題、対人関係の育て方などについて学びます。また、子どもの発達のかたよりを認めたくない、認められない親にどのように伝え、どのように支援するかを学びます。
8	12/12 (土)	親のうつ・人格障害について	神村富美子氏 (同上)	子育て中の親が精神疾患を患っていた場合、どのような注意が必要で、どのような対応が効果的かについて学びます。みなさんのお困りの事例などについても、より実際的なかかわりを学ぶ場になりたいと思います。
9	1/23 (土)	産後クライシス・子育て中の夫婦関係の危機/関係改善プログラムについて	柴田俊一氏 (同上)	産後クライシスといわれる状況が、親子とも、最も不安定な子育ての初期に訪れます。子どもの心理的問題の背後に、夫婦関係の葛藤が潜んでいることは、よく知られています。子育ての初期段階こそ、夫婦の協力体制がより求められる時期ですが、なかなか理想的にはいきません。その原因と対応法について考えます。
10	2/27 (土)	保育の質・子育て支援の質について/エンディング/振り返り	柴田俊一氏 (同上)	子育て支援の分野では、子どもを育てている親に向けての支援は第一義的に重要です。さらに、保育されている状況や子育て支援者の関わり方の質の良し悪しは、子どもに、一生をも左右する重大な影響を与えることを資料・考察を交えて改めて確認します。

\*講座のお申込み・受講料のお支払いにつきましては別紙をご参照ください。